



「芦別市栄誉賞」を創設しました

角幡唯介さんと田中千草さんを表彰

市はこのほど、広く市民に敬愛され、市民に希望と活力を与えた個人または団体を表彰する「芦別市栄誉賞」を制定。その第1号として、芦別市出身で作家、冒険家の角幡唯介さんと同じく芦別市出身でカンボジアの小学校で教員を務める田中千草さんに「芦別市栄誉賞（栄誉をたたえて）」を贈呈することを決め、7月6日、市長室で田中さんに贈呈しました。

田中さんは、「芦別市民の皆さんなどから楽器や運動靴をカンボジアの子どもたちに贈っていただくなど、多く

受賞者の横顔

▼田中千草(たなか ちくさ)さん(33)

芦別小学校などで教員を務めた後、平成19年から2年間、青年海外協力隊員として、カンボジアのワット・ポー小学校に勤務し、

音楽教育を中心とした支援活動を行う。任期終了後、現地の人たちの要望を受け再び赴任し、引き続き支援活動。現在は、校長補佐として指導を行う傍ら、非営利団体アノコット・カンボジアを設立。里親基金も創設し、就学が困難な子どもへの就学支援も行っている。

の方々を支えられて感謝しています。今後もカンボジアの子どもたちに教育の機会が広げられるよう、まだまだ頑張ります」と話していました。なお、角幡さんには、9月頃に贈呈する予定です。

芦別市栄誉賞 芸術、文化、スポーツなどの分野で輝かしい活躍をし、その功績が特に顕著なものを「栄誉賞」、その他を「栄誉をたたえて」とする二つの区分があります。今回、角幡さんと田中さんに贈呈したのは、「栄誉をたたえて」。

▼角幡唯介(かくはた ゆうすけ)さん(36)



早稲田大学時代は探検部に所属し、ヨットでの太平洋横断やチベットの秘境などを単独探検。朝日新聞記者を経てフリーの作家、冒険家となる。平成22年に、チベ

トヤル・ツアンポー峡谷の単独行をまとめたルポルタージュ『空白の五マイルーチベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む』で開高健ノンフィクション賞、大宅壮一ノンフィクション賞などを受賞。このほか『雪男は向こうからやってきた』で新田次郎文学賞を受賞。

こんにちは 市立病院です

5月11日に「看護の日」のイベントが開催されました

フロレンス・ナイチンゲールの生誕にちなみ、5月12日は「看護の日」として制定され、全国各地でイベントが実施されています。当院でも、職員による健康・栄養相談コーナーや血圧測定、介護用品の展示即売を行いました。また、毎年恒例の「子どもセクター保育園」の園児による「小さな看護師さん」は入院患者さんから大変好評で、頭をなでたり手を握ったり、どの患者さんもとてもしよい笑顔を見せてくれました。



地域医療連携室のご案内

地域医療連携室では、市民の皆さんに効率的な医療を提供するため、地域の先生方や介護関連施設との連絡・調整を強化し、密接な医療連携を構築するための業務を行っており、4月から2階から1階へ移転し、看護師2名、社会福祉士2名の計4名で業務にあたっています。

- ① 他院を受診する際の予約受付
 - ② 院内外への病院情報の発信
 - ③ 地域医療・福祉機関との情報交換や収集
 - ④ 転院や施設入所に関する調整
 - ⑤ 在宅支援に向けた医療福祉や介護に関する各種相談
- など、患者さんが円滑に適切な医療が受けられるよう、必要な手伝いをさせていただきます。

●問い合わせ 市立芦別病院 地域医療連携室 ☎ 22・1666



院内広報紙「ミズナラ」もご覧ください。1階ロビーに用意しているほか、当院のホームページにも掲載しています。

○ホームページアドレス http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/byoin_jimukyoku/ashibetsu_hospital/index.html